# （　令和4　）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

（07　京都市吉田　）児童館

| | 活動の基本目標（指針） | 主な取組名 | 成果と課題 |
|---|---|---|---|
| 生活援助機能 | 安全・衛生の確保 | 挨拶の励行 | 自分から挨拶する子どももいるが、職員から声をかけて挨拶する子どもも多い。継続的な指導が必要である。 |
| | | 連絡帳の提出 | 子どもの出欠の確認や連絡事項、様子などの保護者との情報交換のため、子どもたちに登館したら連絡帳を提出するよう指導している。多数の子どもが習慣付いて提出しているが、職員から声をかけないと提出しない子どももいる。子どもの予定や様子の把握、職員間の共有に努めた。今年度で連絡帳は廃止となる。 |
| | | 手洗い、うがいの励行 | 登館時・外あそび後・食事やおやつ前の手洗い、アルコール消毒を習慣付けることに努めた。ハンカチを忘れる子どもが多いので、指導を継続する必要がある。うがいの指導は行えていなかった。 |
| | | 個人の持ち物の管理や整理整頓 | 自分の持ち物をランドセルやロッカーに片付けるよう指導を行っているが整理整頓が十分にできていない。落とし物・忘れ物は多く、今後も継続的に声掛けをする必要がある。 |
| | 健康の管理・情緒の安定 | 遊具の使い方や片付けの指導 | 遊具の使い方について指導をすることで、使ったものを片付けてから違うあそびをするということが習慣付いてきたが、自分で時計を見て片付けを始めることが難しく、机が出しっぱなしの時もある為、徹底が必要である。 |
| | | 安全指導 | 保護者と帰宅方法について確認し、子どもたちにも指導して、安全確保に努めることができた。今後も継続して、保護者と情報を共有し連携していく。 |
| | 基本的生活習慣の確立 | おやつの提供 | 栄養バランスを考えつつ、アレルギー対応が必要な子どもには、個別で保護者と連携して進めることができた。今後も、一段と職員間でのアレルギーダブルチェックを徹底していく。新型コロナウイルス感染防止の為、1回を6～8人までとし、10分間の時間指定をした。おやつを食べるかどうかは個人の判断に任せ、食べない子どもは持ち帰りおやつにする等工夫した。 |
| | | 帰りの会 | コロナ禍の中ということで、できるだけ短く縮小して行うようにした。人数確認、連絡帳の返却、伝達事項を伝え集団帰りの子どもには安全に下館できるよう指導した。 |
| | | 避難訓練 | 定期的に火災や地震を想定し、避難経路の確認をした。夏に消防署との総合訓練をした。訓練を重ね、スムーズに避難できるようになったが、慣れも生じているので緊張感をもって行えるようにしていく。 |
| | | お弁当いらないデー | 保護者が作る負担と、子どもがお弁当を持って来る負担を軽減することができたが、新型コロナウイルス感染防止のため回数を減らしたため、メニューが恒常化してきているので検討が必要である。 |
| | 社会生活技術の獲得 | 集団下館指導 | 4月に新1年生を対象に、職員が集団下館に付き添い、下館ルートや下館中に気を付けること等を確認できた。 |
| | | 防犯交通安全教室に参加 | 川端警察署から、防犯・交通安全について指導してもらい、自分自身の身辺の安全に対する意識を深める機会としていたが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止した。 |
| | | 集団下館（冬時間による早帰りの実施） | 東大路通以東の子どもを対象に、冬季の下館時間の変更を行った。帰りの会に参加できないので、対策が必要。 |
| | | 大掃除 | 年末に協力して児童館全体をきれいに掃除し、新たな気持ちで新年を迎える準備ができた。 |
| 子ども育成機能 | 生活体験の拡大 | 当番活動・班活動 | 例年、主に3年生がリーダーとなり、班をまとめたり、号令をするなどの機会となっていたが、放課後学び教室、部活への参加が多くなり、集団としての活動が難しかった。また、今年度も新型コロナウイルス感染防止の為、おやつ時などの班活動は行わなかった。 |
| | | お誕生会 | 新型コロナウイルス感染防止の為、縮小して行う形にはなったが、毎月実施し、誕生月の子どもを皆で祝った。保護者と職員からのメッセージが入った色紙をプレゼントした。 |
| | | 館外活動 | 新型コロナウイルス感染防止のため今年度は行えなかった。 |
| | | 館外活動に向けての取組 | 新型コロナウイルス感染防止のため今年度は行えなかった。 |
| | | お店屋さんごっこ | 長期休暇中に、児童館事業と合同で行う。紙のお金でおやつを買う。お客さん役と、お店屋さん役をそれぞれ楽しむ予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| | | みんなであそぼう♪ | 代休日や夏休みに学童全体で一つのあそびをする予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| | | 3年生会議 | 3年生で集まり、上級生としての意識を高めるとともに、3年生のみで行う記念行事について考えた。 |
| | | 入会式 | 新入生の保護者や上級生と共に、新入生の入会をお祝いする予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止した。 |
| | | 新入生歓迎会 | 学童クラブ全体で新入生を歓迎する。新入生の自己紹介と、上級生による入会のプレゼント渡しを行った。 |
| | 自主性・社会性の養成 | きりえ | 5月から7月にかけて、新入生全員にきりえを体験してもらう機会としていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為、行わなかった。 |
| | | 吉田児童館キャンプ | 葛川森林キャンプ場にてキャンプを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| | | 吉田区民夏まつりに向けての取組 | 地域の夏祭りでキッズソーランを踊る予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| | | おやつ作り | クラス別におやつ作りを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| | | 高齢者ふれあい福祉大会に向けての取組 | 高齢者のお祝いの会でキッズソーランを披露する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| | | 児童館フェスに向けての取組 | 新型コロナウイルス感染防止の為、職員のみで準備を進めた。 |
| | | 吉田児童館フェス2022 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、午前・午後で複数回の部に分けるなどして縮小して行った。保護者の方にも有志でお手伝いをして頂いた。 |
| | | たこあげ大会 | 児童館事業と合同で鴨川にて行った。午前中に製作をし、午後に鴨川でたこあげを行った。保護者の方にも有志でお手伝いをして頂いた。 |
| | 自立の促進と自主性の尊重 | 思い出作りのイベント | 3年生会議で内容を相談し、ドッジボール・卓球・スライム作りを行った。 |
| | | 修了式 | 1年間のみんなの頑張りを祝い、一人ひとりに修了証書や記念品を渡す。新型コロナウイルス感染防止のため、例年より縮小して行った。 |
| 子育て支援機能 | 子育てに必要な情報の提供と交換 | 個人懇談 | 生活習慣や家庭・学童クラブでの様子等、情報を共有することができた。１年生の全保護者と新入生の保護者が対象。参加しやすいように、午前中だけでなく、午後や土曜日にも時間枠を設けた。 |
| | | 小学校との懇談 | クラス担任と児童の様子について情報を交換・共有し、日々の保育に活かすことができた。 |
| | | キャンプ、吉田児童館フェス2022 | 例年、役割を担いながら保護者同士の交流を深め、また集団の中での我が子の様子を見てもらうことを目的として実施しているが、新型コロナウイルス感染防止の為、キャンプは中止となった。児童館フェスは、職員主導で保護者の方にも有志でお手伝いをしていただき、午前・午後で複数回の部に分けるなどして縮小版で行った。 |
| | | 吉田区民夏まつり・高齢者ふれあい福祉大会、オータムフェスタへの参加 | 例年、学区社協や地域各種団体と連携して、地域行事へ参加し、住民と交流しながら児童館PR・保護者同士の交流などネットワークを広げる良い機会となっており、学童クラブの子どもたちの発表を見て、楽しんでもらっているが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| | 子育ての仲間づくり | たこあげ大会実行委員会 | 保護者会との共催で企画を進める。新型コロナウイルス感染防止の為、職員主導で行い、保護者の方には有志で参加していただいた。 |
| | 子育てを支えるネットワーク形成 | 登録説明会 | 来年度学童クラブに登録する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や提出書類の説明を行う予定だったが、来年度よりICTを導入する為、導入説明会と入会説明会を同日で行った。新規の方は両方、継続の方は導入説明会のみに参加してもらった。 |
| | | 入会説明会 | 新入会の保護者に学童クラブの内容の説明や提出書類の説明を行った。来年度よりICTを導入する為、導入説明会と入会説明会を同日で行った。新規の方は両方、継続の方は導入説明会のみに参加してもらった。 |
| | | おたよりの発行 | 『学童っ子だより（月の予定）』を月1回と『どろんこ（子どもの様子）』を2ヶ月に1回発行した。子どもの様子が共有できるような、わかりやすい紙面を今後も考えたい。 |
| | | 保護者懇談会 | 例年、年４回実施し、子どもたちの様子を伝えている。また、保護者同士・保護者と職員が交流を持つことを目的に行っている。今年度は、夏季休暇前の7月に新入会の保護者を対象に開催し、連絡事項や、子どもの様子などを伝えた。新型コロナウイルス感染予防の為、複数日に分けて行った。 |

# （　令和4　）年度　学童クラブ事業年間活動報告書

（　07　京都市吉田　）児童館

| 行事名 | 実施回数 | 学童クラブ児童 | | | | | | 登録外児童 | | ボランティア | | | その他 | 合　計 | 内　容 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | 1年 | 2年 | 3年 | 4年 | 5年 | 6年 | 1～3年 | 4～6年 | 中高生 | 大学生 | 大人 | | | |
| （1）生活支援機能 | | | | | | | | | | | | | | | |
| お弁当いらないデー | 2回 | 28 | 39 | 33 | 6 | 10 | | | | | | | | 116 | 長期休暇や給食がない日などに保護者がお弁当を作る負担を軽減するために、保護者会より補助を受けてお弁当を用意する。4・8月に実施した。新型コロナウイルス感染防止の為、例年よりも回数は少なくした。 |
| 集団下館指導 | 1回 | 11 | 16 | 11 | 1 | 5 | | | | | | | | 44 | 児童館から下館する際の注意点などを確認し、同じ方向に帰る子どもの顔合わせを行った。 |
| 防犯交通安全教室 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 川端警察署から、防犯・交通安全について指導してもらい、自分自身の身近な安全に対する意識を深める機会としていたが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止した。 |
| 避難訓練 | 11回 | 132 | 123 | 120 | 8 | 43 | | 6 | | | | | | 432 | 地震や火事の際の避難経路を確認するために訓練を行う。8月は、左京消防署の方に来ていただき指導していただいた。 |
| 大掃除 | 1回 | 12 | 10 | 9 | 2 | 3 | | | | | | | | 36 | 年末に、児童館を班ごとに分かれて綺麗に掃除する。 |
| （2）子ども育成機能 | | | | | | | | | | | | | | | |
| クラス発表 | 1回 | 15 | 15 | 14 | 2 | 7 | | | | | | | | 53 | 年度初めに、1年間のクラスを発表する。 |
| 班発表 | 1回 | 15 | 15 | 14 | 2 | 7 | | | | | | | | 53 | 季節ごとに新しい班を編成し、発表する予定だったが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為、班活動が行えず、班替えは行わなかった。 |
| 入会式 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 新入生の保護者や上級生と共に、新入生の入会をお祝いする予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止した。 |
| 新入生歓迎会 | 1回 | 12 | 20 | 13 | 3 | 6 | | | | | | | | 54 | 学童クラブ全体で新入生を歓迎する。新入会の自己紹介と、入会のプレゼント渡しを行った。 |
| お誕生会 | 12回 | 141 | 121 | 115 | 9 | 46 | | | | | | | | 432 | 毎月１回行う。保護者と職員からのメッセージを色紙に貼ってプレゼントする。新型コロナウイルス感染防止の為、帰りの会時に縮小して行った。 |
| きりえ | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 5月から7月にかけて、新入生全員にきりえを体験してもらう機会としていたが、今年度は新型コロナウイルス感染防止の為、行わなかった。 |
| 館外活動に向けての取組 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 館外活動の前に、当日の流れや参加メンバーを確認する。今年度は、新型コロナウイルス感染防止の為、館外活動を行えなかった。 |
| 児童館・学童保育所まつりへ行こう！ | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 宝ヶ池公園子どもの楽園で行われている左京・東山児童館学童保育所まつりに参加する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| 3年生会議 | 4回 | | | 54 | | | | | | | | | | 54 | 3年生で集まり、上級生としての意識を高めるとともに、3年生のみで行う記念行事について考える。 |
| 児童館キャンプ | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 葛川森林キャンプ場にてキャンプを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| おやつ作り（Ａクラス） | 0回 | | | | | | | | | | | | | | クラス別におやつ作りを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| おやつ作り（Ｂクラス） | 0回 | | | | | | | | | | | | | | クラス別におやつ作りを行う予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| みんなであそぼう | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 代休日や夏休みに学童全体で一つのあそびをする予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| 館外活動へ行こう♪ | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 夏休みに電車やバス等公共交通機関を使って、館外活動へ出かける予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| お店屋さんごっこ | 2回 | | | | | | | | | | | | | | 長期休暇中に、児童館事業と合同で行う。紙のお金でおやつを買う。お客さん役と、お店屋さん役をそれぞれ楽しむ予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、行えなかった。 |
| 吉田児童館フェス2022 | 1回 | 1 | | | | | | 35 | 11 | | | | 61 | 108 | 新型コロナウイルス感染拡大防止の為、午前・午後で複数回の部に分けるなどして縮小して行った。保護者の方にも有志でお手伝いをして頂いた。 |
| 1年生会議 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 新型コロナウイルス感染予防の為、行えなかった。 |
| 2年生会議 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 新型コロナウイルス感染予防の為、行えなかった。 |
| 3年生記念イベント「みんなであそぼう」 | 1回 | | | 7 | | | | | | | | | | 7 | 3年生会議で決まった外あそび（ドッジボール）を1時間、育成室にてスライム作りを1時間行った。 |
| 新入生プレゼント作り | 4回 | 8 | 12 | 7 | 2 | 4 | | | | | | | | 33 | 新年度に新入生に渡すプレゼントとしてプラ板に絵を描く。 |
| 修了式 | 1回 | 15 | 16 | 12 | 2 | 4 | | | | | | | | 49 | １年間を修了する式を行う。児童全員に修了証書や保護者会からの記念品を渡す。新型コロナウイルス感染予防の為、縮小して行った。 |
| （3）子育て支援機能 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 保護者懇談会 | 2回 | | | | | | | | | | | | 11 | 11 | 夏季休暇前の7月に開催し、連絡事項や、子どもの様子などを伝える。新型コロナウイルス感染予防の為、新入会の保護者を対象に、2部制で行った。 |
| 個人懇談 | 12回 | | | | | | | | | | | | 14 | 14 | 1年生の保護者全員と新入会の保護者を対象に、子どもに関しての情報交換を行う。 |
| 吉田区民夏まつり | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 地域の夏祭りでキッズソーランを踊る予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| 高齢者ふれあい福祉大会 | 0回 | | | | | | | | | | | | | | 高齢者のお祝いの会でキッズソーランを披露する予定だったが、新型コロナウイルス感染防止の為、中止となった。 |
| たこあげ大会 | 1回 | 1 | 1 | 1 | | 1 | | 9 | 1 | | | | 8 | 22 | 児童館事業と合同で鴨川にて行った。午前中に凧を作り、午後に鴨川で凧あげを行った。 |
| 登録説明会 | 5回 | | | | | | | | | | | | 51 | 51 | 来年度学童クラブに登録する予定の保護者に、児童館と学童クラブの内容や提出書類の説明を行う予定だったが、来年度よりICTを導入するため、導入説明会と入会説明会を同日で行った。新規の方は両方、継続の方は導入説明会のみに参加してもらった。 |
| 入会説明会 | 5回 | | | | | | | | | | | | 51 | 51 | 新入会の保護者に学童クラブの内容の説明や提出書類の説明を行った。来年度よりICTを導入するため、導入説明会と入会説明会を同日で行った。新規の方は両方、継続の方は導入説明会のみに参加してもらった。 |

＊注1　行事名は，(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能に分類して記入すること
＊注2　2クラス以上の館所で，クラスごとで異なる取組・行事を実施した場合は，行事名と併せて，クラス名を記入すること